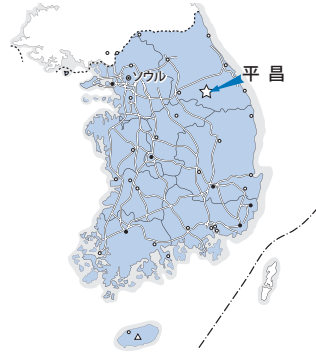


2018年冬季オリンピック開催地 '平昌' (ピョンチャン) (ライブラリー・コーナー)

著者	二階 宏之
権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	193
ページ	72-72
発行年	2011-10
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://doi.org/10.20561/00046072

二〇一八年冬期オリンピック開催地 “平昌(ピョンチャン)”

一階宏之



二〇一八年冬期オリンピックが韓国の平昌で開催される。二〇一〇年、二〇一四年の冬期オリンピック誘致で二度失敗し、三度目の挑戦での悲願達成である。韓国は、一九八八年ソウル夏期オリンピック、二〇〇二年FIFAワールドカップ、二〇一一年大邱世界陸上選手権に続き、二〇一八年平昌冬期オリンピックの誘致で世界の主要なスポーツイベントの開催を成し遂げる。

とここで平昌とはどのようなところなのか。平昌郡は江原道(日本の県にあたる)の北緯三七度一六分四九分に位置し、日本では福島郡山付に相当する。人口は約四万四〇〇〇人、ソウルから一八〇キロ、車で三時間の距離にあり冬には多くのスキー客で賑わう。鳥取県若桜町と平昌郡の間では二〇一〇年一月八日に姉妹都市を提携している。韓国では平昌は五台山国立公園やスキーリゾートとして知られているが、日本では平昌という地名を耳にした人は少ない。しかし、韓国ドラマ「冬のソナタ」の舞台となったスキー場が平昌だとわかれば、平昌がいつそう身近に感じられるかもしれない。

アジア経済研究所図書館に『平昌郡誌』(Ko/91519/P1007)という地方誌がある。二〇〇三年発行の韓国語資料であるが、この資料には平昌の歴史、人口、自然環境、社会・文化、宗教、教育、行政、政治、産業、経済などの内容が集積されている。また、平昌郡のホームページ(<https://www.happy700.or.kr/pcmain/pcmain.asp>)では平昌の概要を始めとして平昌の統計情報が豊富に提供されている。本コーナーでは、『平昌郡誌』と平昌郡、韓国文化観光研究院(<http://stat.tour.go.kr>)および韓国風力産業協会(<http://www.kweia.or.kr>)のホームページを参考にして、平昌を詳しく紹介してみよう。

平昌は、朝鮮半島の背骨にあたる太白山脈の西側に位置し、大部分山地からなる。この地域の河川はほとんどは北から南に流れている。また、石灰岩地層が分布し、カルスト地形が発達している。二〇〇九年の年間平均気温は七・四度、年間降水量は一三三二mmである。平昌郡は約八〇%が山地であり、冬は長く雪が多く、最低気温は零下二〇度まで下がる。一方、夏は短く最高気温は三〇度まで

上がる。時には狭い地域に豪雨、雷、雹が集中的に発生する。スキー場は現在二カ所運営されていて、どちらも韓国では大規模なスキー場といえる(表1)。二〇〇三年から平昌郡を訪れる観光客が増加しているが、これはスキー場に訪れる利用客が増加したことが一因と考えられる(表2)。

表1 平昌郡スキー場の利用客推移

(単位:人)

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
龍平リゾート	297,695	311,391	432,955	453,486	519,534	703,886	628,810	820,238	603,298	666,233	604,911	534,332	528,373
フェニックスパーク	237,339	304,678	352,530	380,612	563,714	696,886	698,602	891,516	813,476	889,640	778,464	709,853	672,834

(出所) (財)韓国文化観光研究院 (<http://stat.tour.go.kr>) より筆者作成。

表2 平昌郡主要観光地訪問客の年別推移

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
訪問客(人)	4,399,647	4,720,248	4,500,487	4,316,949	4,797,376	6,055,990	6,239,974	7,514,624	8,177,591	7,280,595	7,483,451	6,905,122

(出所) 平昌郡 (<https://www.happy700.or.kr/pcmain/pcmain.asp>) より筆者作成。

表3 平昌郡の人口推移

年	1962	1966	1970	1980	1990	2000	2001	2009
人口(人)	87,831	103,519	96,959	78,747	53,257	47,190	46,564	43,989

(出所) 平昌郡 (<https://www.happy700.or.kr/pcmain/pcmain.asp>) より筆者作成。
(注) 1990年までは人口調査結果、1991年以降は住民登録人口統計(外国人含む)。

表4 平昌の風力発電所

(2011年7月現在)

発電所	総容量(KW)	基数
大関嶺	2,640	4
江原	98,000	49
大基	2,750	2
泰岐山	40,000	20
平昌以外	250,455	165
韓国全体	393,845	240

(出所) 韓国風力産業協会 (<http://www.kweia.or.kr>) より筆者作成。
(注) 泰岐山は平昌郡と横城郡にまたがる。

平昌の人口は、戦後一九六〇年代に激減し、戦後一〇万人に達した。しかし、一九六〇年代後半から次第に減少し始めた。その原因は、近代化の影響を受けて農村から都市へ人口が移動したこと、焼畑農業を中断したことによる。山林の荒廃を防ぐため焼畑整理法が一九六六年に施行された。平昌郡は焼畑農業に従事していた農家が多かったため、これにより大きな打撃を受けた。一九六二年と二〇〇九年の人口を比べると半分はまだ減少したことがわかる(表3)。

韓国政府はグリーンエネルギーの戦略ロードマップの育成品目に風力発電を挙げている。平昌郡には風力発電所が四カ所あり、韓国の風力発電総容量の三六%を占め、主要な供給スポットとなっている(表4)。今回の冬期オリンピック誘致が、平昌の観光、文化の先進化、地域経済の活性化につながることを期待したい。(にかい) ひろゆき/アジア経済研究所図書館